

札幌市における 2030 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会
招致活動の現状について

1 招致活動の進め方の見直しについて

(1) 背景

- JOC と共にクリーンな大会に向けた宣言文を公表し取組を推進してきたが、新たな談合疑惑により市民・道民・国民の不安や不信感が増大
- IOC が開催地選出スケジュールを変更※したことで時間的猶予が発生
〔※当初は 2023 年 10 月までに選出予定だったが、「気候変動が与える世界の冬季スポーツへの影響や課題を整理し、将来の冬季大会開催のあり方を議論する時間が必要のため」として、無期限延期となった。〕

(2) 現在の方針

- 市民・道民・国民の不安や不信感を払しょくするため、大会見直し案の検討を優先
- その後、改めて民意を確認した上で、関係者と相談しながら招致実現に向けた取組を推進

(3) 具体的内容

- 2030 大会の競技運営体制の見直しやガバナンス体制の検討
 - ・競技会運営における代理店等への委託業務の在り方を見直し
 - ・大規模国際大会等における組織委員会等のガバナンス体制等に関する指針の内容を踏まえて、2030 大会について検討
- 積極的な機運醸成活動の休止
 - ・機運醸成イベントの開催やブース出展、新たな都市装飾など積極的な機運醸成活動の休止
 - ・オリンピック・パラリンピックの開催意義の理解促進を目的とする出前講座等は継続

2 開催地決定までの今後のスケジュール

